

チャオ・ベトナム

J A P A V I E T N A M 会 報

NO.53

発行者：ジャパ・ベトナム事務局 発行日：2017 年 4 月 15 日

- ◆教育に熱意あるベトナムとジャパ・ベトナムの支援 1 / 2 / 3
- ◆北ベトナム Bach Ninh 省家庭の自立/HIV/AIDS との戦い 4

- ◆会報チャオ・ベトナムの創刊 5
- ◆ご案内チャリティーコンサート、夏のツアー . . . 6
- ◆寄付者一覧、お知らせ 7
- ◆会計報告 8

教育に熱意あるベトナムとジャパ・ベトナムの支援

平井 裕

ベトナムにとって教育は大きな課題である。義務教育は、1 学年から9学年（6歳から15歳。小学校5年と中学校4年に相当）で、平成27年の統計によれば（外務省調査）、就学率は、小学校は98.3%、中学校は88.0である。この数字はかなり高いとは言え、教育を受けられていない子供も中学で1割以上居ることになる。授業料は、公立は基本的には無料である（私立は3千円程度/年）。一方で裕福な都市部の私立学校では、スクールバスで送り迎え、PCを並べて教育するクラスも出てきていて格差は大きい。

今ベトナムでは日本語熱が大変高く、昨年小学校で第二外国語に日本語を加えることを政府が決定したことで、日本への関心がますます増していると思われる。日本のコミックも多数翻訳され、また日本の良質の児童書も市場に出回っていて、子供を対象とした日本語クラス・塾も盛んである。少子化の傾向があるとはいえ、6歳から15歳位までが総

人口の14.5%が占めて居て、15年先のベトナム社会を支える原動力となる子供の教育は大変重要で、政府も学校も力を入れているようだ

そのような状況の中で、ジャパ・ベトナムの教育関係の支援先に関しては、設備、教育内容、環境もまだ十分ではない状況にあり、これまで以上の継続的な支援の必要性を感じながら訪問した。支援先である2箇所はのうち、一つは少数民族の自立支援の活動組織、もう一つはメコンデルタの貧しい地域の小学校の教育への支援である。

● 少数民族子供達の寮



9月5日、ロン・ディエン村、ビンフック省のカトリックの『平和の元后修道女会』を訪ねた。この修道会は、この地区に住む少数民族(スティン族、ムノン族)の子供達が通学できるよう1993年に寄宿寮を設立し、シスターがこの寮の運営、少数民族集落の人々の生活支援の活動を行っている。現在100人超の子供たちが寮から学校(小学校～高校)に通学していて、ジャパ・ベトナムは1995年に支援を開始した。これまでに、寮運営のためゴム園、道路補修、シャワー室、井戸掘り、集落の家改築などに関して支援して来た。



〈寮に生活する子供達〉

今回、寮運営のための資金源となる農園で、カシューナッツの栽培畑の状況を見て回った。

計画したカシューナッツ接ぎ木事業は、木の老齢化により思うように収穫ができない状況であった。明確に原因特定はできず、今後手間・コストは掛かるが引き続きこの古木(およそ20年経過)からの収穫を続けるとのこと。もう一つの課題は、カシューナッツ害虫「カミキリムシ」が広範にわたり発生して大きな痛手を受けている問題がある。虫が卵をカシューナッツに産み付け、幹・枝の内部で幼虫が育ち食い荒らすことで、大きな収量減となっている。環境に良くない殺虫剤を避け、人手による駆除に頼って若干の効果が出ているものの、大きな負担となっている。数年前よりこの問題は発生して

いたが最近になり急速に大きな問題となる。農園経営については、ジャパ・ベトナムには専門家は居ないが、日本に沢山いるだろう。その道の専門家の知恵を是非借りられないだろうか。日本では同じような課題に対し、どのような対策がとられているのか調べ連絡することになった。例年400万円ほどの収入があったが収穫減などにより今年は100万円程度に落ち込むと予想され、差額の補てんに苦慮している。

また今年度は築20年の建屋で老朽化が激しいため、寄宿舎の床の必要な改修を支援する。3年前に植えたゴムの木は収穫までにあと4年かかる予定で、支援金の一部はその間にかかる費用(肥料、薬剤、作業員の手当など)などに充てたいとのことである。訪問の最後に寄宿舎に住むスティン族の子供たちの民族舞踊などの歓迎を受け、その後子供たちに学用品など渡して、再会を約束した。

●聖ヨセフ小学校

9月7日。いつものように、メコンデルタの田園の中をマイクロバスを走らせ、ホーチミンから、南西へ直線距離で150kmに位置するフン・ヒエップ村/ハウ・ザン省に到着し、聖ヨセフ小学校を訪ねた。小さな水路が縦横に走る地域の奥にある学校までは、ミニバスが通れる道路が開通していた。



〈教室での生徒たち〉

この学校は20年前、公立小学校が遠距離のため教会の中に小学校が設立された。3クラスから始まり現在5クラス 150人の生徒を10人の教師が教えていて、貧しい家庭の子供は学費が減免されている。途中で勉学をやめる子供はなく、ほとんどは卒業後中学に通っている。支援は、学校運営費や設備費に対し行なわれ、具体的には、教員の給与、児童の備品、電気代に活用されている。ちなみに教師は年間400ドルと大変僅かな給与の中で献身的な貢献をしていてその様子を敬服する。

毎年考えさせられるのは、もう少し踏み込んだ支援が出来ないのかという事である。

今年からは、予定通りには進んでいない状態を改善するため5年間の経営計画作成を依頼して、これに基づき長期的な支援をしていきたいと考えている。今年は具体的には、150人児童 5クラスの学費収入は約15万円で不十分のため、全体の運営費50万円の一部30万円をジャバ・ベトナムから支援する予定である。



〈学校裏の水路でおしゃべりに花咲く〉

また、2年前にコンピューター10台（児童教育用）支給を検討してとの要請があったが、まだ応じられて居ない。現地のPCメーカーとコンタクトして貸与の可能性を打診しているが、まだ良い返事をもらえて居ない。周辺の学校ではすでにPCの教育は進められているようなので、早急に手当できるようにしたいと考えている。



〈聖ヨセフ小学校校舎〉

もう一つ、やはり私達は日本人で、せっかく身近になった日本であるから、是非日本語教育のための支援、教材や講師の派遣が出来たら良いと思っている。帰り際に児童に手渡す学用品などお土産は宝物になるという意識を子供達の実顔からいつも感じる。

それぞれの教育機関で、アイデアを出しながら運営してはいるが、計画の初期段階から何をしてどのようになるのか、問題があればそれをどう解決するかを一緒に考え、日本の知恵と技術が役立つものなら、活用できるように動かなければならないと考えている。

基本的には自立を支援する活動であるから、自分たちの力を付ける、ベトナム人の中から解決法を見つけることが望ましい。学校の卒業生が成長して仕事を持ち、その収入の一部でも還元されれば相当な額になり、学校への支援に充てられるかもしれない。この3年に渡って訪問する中から、学校のOB会の設立のアイデアが出たが、何とかして実現出来るように促して行きたい。

〈参 考 文 献〉

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/01asia/infoC11600.html

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/vietnam.html>

中国の南と隣接している北ベトナムの Cao Bang 省の病院の小児科と長年間付き合っていたジャパ・ベトナムは3年前、すべてのプログラムを打ち切り、北ベトナムの少数民族とのコンタクトを失うことになった。

そのすぐ後、Bac Ninh 省の家庭自立のために戦っている市民のグループの女性のリーダーたちから誘いがあって、2014年にジャパ・ベトナムのスタッフメンバーが現地を訪ねてみた。実は、HIV/AIDSのために家庭のメンバー、特に旦那を失った若い奥さんたちが立ち上がることにした。広い地域に五つの団体を作り、お互いの交流を深めながら活動をしている。



〈グループとの会合〉

私たちは昨年三つのグループのメンバー100人ぐらいを訪れて、付き合ってきた。すべてのメンバー数を把握することができなかった。しかし、話によれば250人ほどが関わっていると聞いた。HIV/AIDSのために旦那さんを失った若いお母さんたちは、まだ小さい子供たちを抱えながら、家庭を育てるすべての責任を持ち、周りからの偏見や子どもたちに関するイジメ、差別と闘っている。その複雑の環境の中であって、Bac Ninh



のカトリック教会が、最近、この市民のグループと協力をし始めた。教会の最高責任者、Cosma Dat 司教は、「HIV/AIDSと闘うのはこの教区の最高の優先課題だ」と、昨年私たちにおっしゃった。教会は、HIV/AIDSのために若い旦那さんたちを亡くした家族たちを全力で、支持したい。

昨年のベトナムツアーの時に、私たちは現地で生の声を聴いてみたところ、想像もしなかった話を聞いた。Bac Ninhの隣の省に金の鉱山があり、そこへ出稼ぎに行った若い男の人たちには麻薬への誘いが盛んになり、HIV/AIDSにかかったウワザが広がった。残されたお母さんたちはもちろん、子ども達も気になる。



会報「チャオ・ベトナム」の創刊 ージャパ・ベトナム 25 年の歩み (1)ー

村山 良忠

今から 26 年前の、1991 年 4 月 15 日付で、『チャオ・ベトナム』の創刊号が出されました。巻頭には、現在もジャパ・ベトナムの代表を務める安藤が、『チャオ・ベトナム』の創刊にあたって」という表題で一文を載せています。四半世紀の時が経っていますが、今日も変わらない、ジャパ・ベトナムの原点がそこにはあります。

**** (創刊号より)

イエズス会社会司牧センター
安藤 勇

ベトナムの支援を始めてから丸 1 年がたちました。イエズス会社会司牧センターは、まず下調べをし、現地の関係者に会い、詳しい話を聞きました。その後、ほうぼうに支援を求めました。その結果、これまでに 80 に近い個人や団体の方々から、300 万円を越える寄付金をいただき、協力者の輪が少しずつ広がっています。今までは、支援をしてくださった方々には、個別にお礼状を出して参りました。幸いなことに、数人の協力者の努力によって、このベトナムへの支援計画を充実させることを目的とした民間ボランティア団体、JAPA VIETNAM (JAPANESE GROUP OF PRIVATE ASSISTANCE TO VIETNAM、ジャパ・ベトナム、日本ベトナム民間支援グループ) が結成されました。現地訪問、勉強会、スライドやパネルの作製、会報『チャオ・ベトナム』(ベトナム語で「こんにちはベトナム」の意味) 発行などをしながら、ベトナムへの支援体制を整えていく予定です。『チャオ・ベトナム』創刊号である本紙には、私たちの手元に集まっている、さまざまな情報の一部を紹介させていただきます。何よりもまず、私たちが皆さんにお伝えしたいのは、皆さんのご協力へのお礼と JAPA VIETNAM の活動報告です。

同時に、もっと多くの方々からご協力をいただいて、ベトナム支援の輪を広げていきたいと願っております。

日本はますます豊かになっています。ベトナムのように大変困っている、多くのアジアの民衆のことをもっと真剣に考え、支援をしていかなければいけないと痛感しております。私たちは、日本国内の他の市民団体からも学んで、このボランティアグループを発展させていきたいと思います。そして、資金を集めるだけではなく、協力者の才能と力を借りて、より充実したベトナム支援を行っていききたいと思います。

JAPA VIETNAM の主旨は、ベトナム人が、ベトナムで本当に困っている多くの人たちの生活を向上させようとして、自ら行っている小さな経済・教育プロジェクトに民間の立場をとって協力することです。当然、さまざまな困難に出合うでしょうが、私たちはチャレンジを続け、少しずつ連帯と交流を深めたいと思っています。

一人でも多くの方々に、私たちの主旨や活動にご賛同いただきたいと願っています。そして、どうぞベトナム支援にご協力ください。

下線は、今日の私たちがつけたものです。この間、日本もベトナムも、そしてお互いの関係も随分と変化しました。しかし、このことは、今日でも変わらず JAPA VIETNAM の基本的な姿勢です。ベトナムの人の変えようという努力に、小さいけれど応援を、これからもしていきたいと思います。

チャオ・ベトナム創刊当時のベトナム



〈生活費を稼ぐ 新聞売りの子供たち〉



〈暑い夏 涼を求めて石の舗道
ストリートチルドレンたち〉



〈シクロが街の主な交通手段〉



〈カオバン省立病院 支援先小児科にて〉

チャリティー・コンサートのご案内

出演：セシリア（ベトナム人合唱団）

マルキチャイバンド（ラテンアメリカ
民族音楽バンド）

小沢昌子（ダンバウ・ベトナムー弦琴）

ホ・ティ・ラン（トルン・ベトナム竹琴）

レ・バオ・ゴック（笛）

マイ・カン（ピアノ）

イロナ（ピアノ）

日時：2017年6月18日（日曜日）

13:30～15:30（開場13:00）

場所：四谷・岐部ホール 404号室

（聖イグナチオ教会隣り）

チケット：1,000円（ケーキ、飲物付き）

お申し込みは、電話、FAX、E-mail、いずれ
もジャパ・ベトナム事務局（安藤）まで。

夏のベトナムツアーへのお誘い

今年も夏に毎年行っている各支援先への訪問ツアーを実施いたします。皆さまからお預かりしたお志がどのような支援先にどのように使われているか、ツアーに参加されて触れられては如何ですか。支援先の人々との交流も検討中です。

支援先の現実を目の当たりにされることで、また新たな発見があると思います。

日程：2017年8月21日より9月3日

参加費：7万円（国内宿泊、食事、移動費用）

但し航空運賃は別途個人負担です。

2～3日での部分参加も歓迎です。この場合の参加費は日割りで5,000円/日。

また飛行機の予約など旅の準備のお手伝いもいたします。

詳細はジャパ・ベトナム事務局〈安藤〉までお問い合わせください。

2016年10月1日～2017年3月31日までの会費・寄付納入者のお名前です(敬称略)

青沼 西子	東京都
飯田 幸子	東京都
イエズス会社会司牧センター	東京都
逸見 裕一	埼玉県
井手 公平	福岡県
出原 久美子	埼玉県
井上 康之	東京都
岩田 瑞枝	神奈川県
大泉 廣	東京都
柏村 忠志	茨城県
岸 秀雄	神奈川県
Nguyen Thi Ngoc	神奈川県
小池 美恵子	東京都
駒込 直美	京都府
櫻井 實、優子	茨城県
佐竹 道子	長野県
佐藤 みどり	東京都
渋谷 節子	東京都
末吉 偕子	東京都
鈴木 昌範	神奈川県
清泉女子大学総務課	東京都
たけい しづこ	東京都
武市 英雄	神奈川県
武永 賢	東京都
玉木 邦江	東京都
辻村 寛行	東京都
戸村 信子	長崎県

中嶋 俊之	東京都
中島 淑子	東京都
中野 孝文、宇多子	神奈川県
新村 洋子	東京都
西山 正子	東京都
根岸 寿	兵庫県
匿名	東京都
Ha Thi Liet Oanh	神奈川県
橋本 直樹	神奈川県
濱 幸子	
濱 義文	
樋口 禮治	愛知県
平井 裕	東京都
松尾 民博・千枝	東京都
松田 稔	東京都
マリアの御心会茂原共同体	千葉県
マリアの御心会信濃町共同体	東京都
宮坂 淑子	埼玉県
村上 眞樹、道子	東京都
木全 禮子	東京都
矢島 澄子	東京都
山本 喜代子	東京都
山本 昌子	東京都
匿名	東京都
湯下 博之	東京都
羅 修子	東京都
渡辺 典子	大阪府

お知らせ

○ ジャパ・ベトナムのイベントに協力いただいた皆様からの近況報告

新村 洋子(ベトナム象の保護「ヨックドンの森の会」代表)

本が刊行されることになり、現在執筆に忙しい毎日です。

『どこへ行ってしまおうの ベトナムのアジアゾウたち—あなたたちが地上から姿を消さないために私たちができること』(仮題) 今年9月までに刊行予定です。

WWF(世界自然保護基金)の援助によって象のいる森の状況がより把握できるようになりました。

○ スタッフ募集

ジャパ・ベトナムのスタッフとして活動に参加される方を募っています。月一回の会合で皆さんとジャパ・ベトナムの活動について話し合っています。

広報手伝いのできる方を募集しております。デザインの好きな方、HPの編集・Facebook編集、パンフレット・リーフレット作成などボランティアでの活動をお願いできる方を探しています。

○ ジャパ・ベトナム設立以来、長年にわたり事務局スタッフとして活躍され中心的役割を果たされた小野浩美さんが、このたびご自身の健康上のご事情で活動から外れることになりました。同氏の長年の活動、貢献にあらためてお礼申し上げます。

◆◆◆会計報告◆◆◆

(2016年10月1日～2017年3月31日)

収支明細		(単位：円)
収入	一般寄付	611,000
	(内活動費寄付	66,000円)
	利息	2
	小 計	611,002
支出	支援金	0
	通信費	1,644
	活動費	31,455
	事務用品費	7,002
	小 計	40,101
前期繰越金		356,011
当期収支		570,901
次期繰越金		926,912

本年度支援要請

次のプロジェクトへの支援申請が届いています。またこの他にも書類は未着ですが幾つかの別プロジェクトの支援要請が予定されています。

- ・エイズ診療所運営費 300,000 円
- ・聖ヨセフ小学校運営費 300,000 円
- ・教育用 PC10 台 300,000 円
- ・エイズ家庭子供ケア 400,000 円
- ・通学用自転車 30 台 300,000 円
- ・飲料水貯水施設・奨学金 300,000 円
- ・エイズ子供健康保険 300,000 円
- ・少数民族ケア（生茶葉処理） 400,000 円
- ・少数民族子供寮 ゴム農園 300,000 円
- 寮の床改築工事 300,000 円

資金が不足しております。 ご支援をよろしくお願い致します

JAPA VIETNAM をご支援ください

- 一般会費 年間1口（2000円）以上
- 賛助会費 金額・時期ともご自由に
- 活動費寄付 活動費の支援（金額自由）

どれになさるかはご自由にお選びください。ご都合に応じてご送金いただければ幸いです。会費をお振込みいただいた方には、振込の半券で領収書とさせていただきます。領収書が必要な方は、振込用紙の通信欄の「□領収書必要」の口にチェックを入れてください。事務費削減にご協力いただけると幸いです。

【ご送金は郵便振替で】
00100 - 8 - 118761
JAPA VIETNAM

◆
【銀行をご利用の場合は】
三菱東京UFJ銀行 四谷三丁目支店
東京女子医大出張所（店番315）
普通預金 3544236
JAPA VIETNAM 代表 安藤勇

会 報 名『チャオ・ベトナム』について

「チャオ」(chào) とはベトナム語で「こんにちは」という意味です。『チャオ・ベトナム』というタイトルには、ベトナムの人たちと友情のネットワークを築いていきたいという、私たちの願いがこめられています。

ベトナムの未来にあなたの力を

ジャパ・ベトナム
(日本ベトナム民間支援グループ)

JAPA VIETNAM

(J)apanese group of P(ri)ate A(ssistance) to V(ie)tnam

〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-5-1

岐部ホール4階

イエズス会社会司牧センター内

電話 03-5215-1844 FAX 03-5215-1845

e-mail:japavietnam2014@gmail.com

http://www.japa-vietnam.org/

Face Book; japavietnam